

わいわい広場等の現状

項目	資料
令和2年度わいわい広場の実施状況について	1
わいわい広場開設状況（令和2年11月現在）	2
わいわい広場統計データ	3
児童の事故・ケガ等のまとめ	4
わいわい広場と留守家庭子ども会との連携について	5
研修実施状況	6
わいわい広場の普及啓発	7
わいわい広場の充実に向けて	8
派遣型わいわい広場の実施について	9

令和2年度第1回放課後事業推進委員会

令和2年11月24日

令和2年度 わいわい広場の実施状況について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大を防止するために、令和2年2月末から6月末まで中止
- ・感染防止対策を講じた上で、7月より試行的に再開、9月より本格実施

わいわい広場再開までの流れ		
	わいわい広場	小学校
令和2年 2月末～6月	・わいわい広場 中止	・4～5月 一斉休校 ・6月 学校再開
7月	・試行という位置づけで わいわい広場を再開	
8月	・実施なし	・8月7日～19日 夏休み
9月	・本格再開	

※昼間校庭開放事業は令和2年10月より再開

※わいわい広場未実施校についても、講師を派遣し単発でわいわい広場を行う、「派遣型わいわい広場」を令和2年10月より順次実施

主な感染防止対策	
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ・体調管理の徹底（自宅で検温、体調不良時の自宅療養） ・マスクの着用（熱中症の危険性がある場合等は除く）
児童	<ul style="list-style-type: none"> ・参加前、参加後の手洗いや消毒の徹底
遊具等	<ul style="list-style-type: none"> ・受付時、終了時に参加児童の体調確認 ・密にならないよう分散させる環境づくり（遊び方、受付場所の工夫等） ・遊具の消毒

安全管理対策

- ・児童の安全に関する情報（当日の急遽の中止等）について希望する保護者を対象にメール等で情報配信を開始

わいわい広場 開設状況 (令和2年11月現在)

区	実施校	開設年度	開設回数	雨天時
東 (28校)	香椎浜	15年度	週3回	中止
	箱崎	18年度	週3回	中止
	香椎東	18年度	週3回	体育館
	香陵	22年度	週3回	中止
	千早	23年度	週3回	中止
	千早西	23年度	週3回	中止
	香椎下原	23年度	週3回	中止
	香椎	24年度	週3回	中止
	和白	24年度	週3回	中止
	三苦	24年度	週3回	中止
	松島	25年度	週3回	中止
	香住丘	25年度	週3回	中止
	八田	25年度	週3回	中止
	照葉	26年度	週3回	中止
	若宮	26年度	週3回	中止
	和白東	28年度	週3回	中止
	青葉	28年度	週3回	中止
	名島	29年度	週3回	中止
	西戸崎	29年度	週3回	中止
	奈多	29年度	週3回	中止
	城浜	30年度	週3回	中止
	多々良	30年度	週3回	中止
	宮松	30年度	週3回	中止
	馬出	30年度	週3回	中止
	照葉北	31年度	週3回	中止
	舞松原	R1年度	週3回	中止
	美和台	R1年度	週3回	中止
	東箱崎	R2年度	週1回	中止
博多 (18校)	東光	16年度	週3回	多目的室・おほなしルーム外
	席田	21年度	週3回	体育館
	三筑	22年度	週3回	中止
	板付	23年度	週3回	体育館(火のみ)
	那珂南	23年度	週3回	中止
	春住	23年度	週3回	中止
	東月隈	24年度	週3回	中止
	東古塚	24年度	週3回	中止
	東住吉	25年度	週3回	中止(PW来校日のみ体育館)
	那珂	26年度	週3回	中止
	板付北	27年度	週3回	中止
	弥生	28年度	週3回	中止
	月隈	29年度	週3回	中止
	壱粕	30年度	週3回	中止
	住吉	30年度	週1回	体育館等
	吉塚	30年度	週3回	中止
	千代	R1年度	週3回	ランチルーム
	博多	R1年度	週5回	体育館等
中央 (11校)	南当仁	15年度	週3回	中止
	草ヶ江	21年度	週3回	中止
	当仁	22年度	週3回	中止
	平尾	23年度	週3回	体育館
	福浜	23年度	週3回	体育館等
	小笹	23年度	週3回	中止
	警固	24年度	週3回	中止
	高宮	26年度	週2回	中止
	春吉	29年度	週3回	体育館
	赤坂	30年度	週3回	中止
	笹丘	30年度	週3回	中止
南 (25校)	若久	17年度	週3~5回	体育館・多目的ルーム・ふれあいルーム
	弥永	21年度	週3回	中止
	野多目	21年度	週3回	中止
	弥永西	22年度	週3回	中止
	大楠	23年度	週3回	中止(途中中止のみ体育館)
	老司	23年度	週3回	中止
	長住	24年度	週3回	中止
	柏原	24年度	週3回	中止
	玉川	25年度	週3回	中止
	東若久	25年度	週3回	中止
	西長住	25年度	週3回	中止
	日佐	25年度	週3回	中止
	宮竹	26年度	週3回	中止
	花畑	26年度	週3回	中止
	東花畑	27年度	週4回	中止
	高木	27年度	週3回	中止
	塩原	27年度	週3回	中止
	長丘	28年度	週3回	中止
	筑紫丘	28年度	週3回	中止
	大池	28年度	週3回	中止
西花畑	29年度	週3回	中止	
鶴田	29年度	週3回	中止	
三宅	30年度	週3回	中止	
横手	30年度	週3回	中止	
西高宮	R1年度	週3回	中止	

区	実施校	開設年度	開設回数	雨天時
城南 (10校)	鳥飼	16年度	週3回	体育館・図書室・家庭科室
	別府	22年度	週3回	中止
	田島	23年度	週3回	中止
	城南	23年度	週3回	体育館(月のみ)
	堤	23年度	週3回	体育館・低学年学習室・リールーム・学習ランド
	七隈	24年度	週2回	体育館(火曜のみ)
	長尾	25年度	週2回	中止
	南片江	25年度	週3回	中止
	片江	26年度	週3回	火は体育館 金は学校都合による
	堤丘	R1年度	週2回	中止
早良 (24校)	百道	15年度	週3回	中止
	有田	18年度	週3回	体育館
	原北	21年度	週3回	中止
	西新	22年度	週3回	中止
	四箇田	23年度	週3回	中止
	原	23年度	週3回	中止
	高取	23年度	週3回	中止
	室見	24年度	週3回	中止
	百道浜	24年度	週3回	中止
	田隈	24年度	週3回	中止
	賀茂	24年度	週3回	中止
	小田部	24年度	週3回	中止
	野芥	25年度	週3回	中止
	原西	25年度	週3回	中止
	有住	26年度	週3回	中止
	大原	26年度	週3回	中止
	飯原	26年度	週3回	中止
	田村	27年度	週3回	中止
	飯倉中央	27年度	週3回	中止
	入部	27年度	週3回	中止
	飯倉	28年度	週3回	中止
	早良	28年度	週3回	体育館(火のみ)
	内野	29年度	週3回	中止
	脇山	R1年度	週2回	体育館(火), 園工室(木)
西 (21校)	金武	16年度	週3回	中止
	愛宕	21年度	週3回	中止
	壱岐南	22年度	週3回	中止
	姪浜	23年度	週3回	中止
	西陵	23年度	週3回	ランチルーム(火のみ)
	姪北	23年度	週3回	体育館(火のみ)
	今宿	23年度	週3回	中止
	城原	24年度	週3回	1F家庭科室(火のみ)
	下山門	24年度	週3回	中止
	福重	24年度	週4回	わいわい事務室
	玄洋	25年度	週3回	中止
	周船寺	26年度	週3回	中止
	石丸	26年度	週3回	体育館・多目的室
	壱岐	27年度	週3回	中止
	内浜	27年度	週3回	中止
	壱岐東	27年度	週3回	中止
	愛宕浜	27年度	週3回	中止
	西都	29年度	週3回	中止
	今津	30年度	週3回	中止
	北崎	R1年度	週3回	空き教室等
	元岡	R1年度	週2回	中止

(開催校: 137校)

※新型コロナウイルス感染症対策により、開催曜日・雨天開催については変動

各社 校数	55校	麻生教育サービス株式会社
	32校	株式会社テクノ・サポート
	22校	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	7校	特定非営利活動法人そだちの庭
	19校	リーフラス株式会社
2校	地域型	

わいわい広場統計データ

	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	増減 (R1年度-30年度)	【参考】 R2年度 (10月末)
実施校区数	97	105	114	126	136	10	-
新規開設	11	8	9	12	10	△ 2	
開催日数	7,208	8,383	9,427	10,071	9,011	△ 1,060	
1校平均開催日数	74	80	83	80	66	△ 14	
登録児童総数	12,429	13,819	15,711	18,338	18,751	411	14,664
1校平均登録数	128	132	138	146	138	△ 8	108
1校平均登録率	21%	22%	23%	24%	23%	△1%	18%
1校平均登録率（低学年）	34%	35%	37%	40%	39%	△1%	32%
延べ参加人数	208,233	242,788	279,997	317,590	272,700	△ 44,894	-
1回平均参加数	29	29	30	32	30	△ 2	35
1回平均参加率（全生徒）	5%	5%	5%	5%	5%	-	6%
補助員登録数	466	541	631	890	964	74	-
1校平均登録数	5	5	6	7	7	-	
見守りSP登録数	3,139	3,350	3,494	3,435	3,384	△ 51	-
登録率	25%	24%	22%	19%	18%	△1%	-
1校平均登録数	32	32	31	27	25	△ 2	-

※H30年度より，猛暑時の中止基準を設定

※新型コロナウイルス感染症対策のため下記期間を広場中止とした

- ・R元年度は 2月26日～3月末まで
- ・R2年度は 4～6月まで

わいわい広場 児童の事故・ケガ等のまとめ(令和元年度)

<全体>

●令和元年度、放課後こども育成課に報告があった児童の事故・ケガ等の件数は83件

○1年生48件、2年生26件、3年生7件、4年生1件、5年生1件

○1学期17件、2学期56件、3学期10件

○発生場所は、校庭79件、体育館2件、下校時2件

<ケガの状況について>

事故発生場所等		件数	【参考】 R2年度 (11/4現在)	
固定遊具	滑り台	3	21	14
	ブランコ	8		
	シーソー	1		
	バスケットゴール	0		
	鉄棒	5		
	のぼり棒	2		
	雲梯	2		
運動・ スポーツ系	鬼ごっこ等	5	37	11
	ドッジボール	3		
	一輪車	6		
	野球	6		
	サッカー	3		
	テニス	4		
	ボール遊び	7		
	バドミントン	1		
	ホッピング	2		
	フラフープ	0		
その他	砂場	1	25	7
	喧嘩	2		
	その他	22		
合 計		83	32	

<ケガの種別について>

傷病名	件数	【参考】 R2年度 (11/4現在)
打撲	47	18
創傷	13	7
骨折	9	4
捻挫	8	3
その他	6	0
合計	83	32

●固定遊具でのケガ：遊具からの落下によるもの、遊具への衝突や接触によるもの等

●運動・スポーツ系のケガ：転倒、ボールが当たったり取り損ねたりによるもの、
友達とぶつかる等

●その他のケガ：児童同士でぶつかる、他児童が投げた遊具が当たる等

<ケガの箇所について>

部位		件数	【参考】 R2年度 (11/4現在)
頭部 54件	頭	19	9
	目, 目のまわり	0	2
	顔	7	4
	鼻	3	0
	顎	6	1
	耳	3	1
	口	10	6
腕部 14件	手指	8	6
	腕	5	1
	手の甲	1	0
脚部11件	脚	11	2
胴 3件	胸	2	0
	腹	1	0
その他1件		1	0
合計		77	32

<病院受診について>

	件数	【参考】 R2年度 (11/4現在)
1回のみ受診	33	10
通院	37	11
入院	0	1
受診なし	13	10
合計	83	32

<保険加入について>

	件数	【参考】R2年度 (11/4現在)
スポーツ安全保険	59	19
任意保険	21	10
その他	3	3
合計	83	32

<保険手続きについて>

	件数	【参考】R2年度 (11/4現在)
手続きあり	57	16
手続きなし	26	16
合計	83	32

わいわい広場と留守家庭子ども会との連携について

1. 両事業の連携・児童の安全確保に向けた取り組み

令和2年度の取り組み

- ① わいわい広場が雨等で途中中止となった場合、両事業を登録している児童は、中止後留守家庭子ども会に登会できるようにした。
- ② 学校の臨時休校期間中、留守家庭子ども会への実地研修と位置づけ、わいわい先生が留守家庭子ども会の活動に参加する機会を設けた。

2. 令和元年度 わいわい広場と留守家庭子ども会との連携に関する調査結果

質問	回答		割合	前年度	増減	
遊び方について	ア	エリアを分けることなく一緒に遊んでよいとしている	23.3%	55.6%	59.2%	△3.6
	イ	エリアを分けているが一緒に遊んでよいとしている	6.8%			
	ウ	一緒に遊んでよいとしているが一部一緒に遊べない制限がある	25.5%			
	エ	一緒に遊ばせていない	44.4%	40.8%	+3.6	
遊具の共有について	ア	両方の遊具を共有している	9.2%	41.2%	45.6%	△4.4
	イ	わいわいの遊具のみ共有している	30.5%			
	ウ	留守家庭子ども会の遊具のみを共有している	1.5%			
	エ	全く共有していない	58.8%	54.4%	+4.4	
企画事業への参加について	参加を呼びかけた（呼びかける予定）		74.6%	71.2%	+3.4	
	企画事業の内容等に応じて参加を呼びかけた（呼びかける予定）		14.2%	13.6%	+0.6	
	参加を呼びかけていない（呼びかけない予定）		11.2%	8.8%	+2.4	
	企画事業を行う予定がない		-	6.4%		
連携について	ア	日常的に情報を共有している	72.1%	74.4%	△2.3	
	イ	定期的に情報交換や協議の機会を設けている	20.6%	11.2%	+9.4	
	ウ	双方で遊びのルールを共有している	39.0%	39.2%	△0.2	
	エ	双方でスケジュールを共有している	16.2%	22.4%	△6.2	
	オ	わいわい広場などのお便りを留守家庭子ども会に渡している	75.7%	74.4%	+1.3	
	カ	わいわい先生が留守家庭子ども会の運営委員会に参加している	10.3%	4.8%	+5.5	
	キ	わいわい先生が留守家庭子ども会の補助支援員として従事している	16.9%	16.8%	0.1	
	ク	補助員が留守家庭子ども会の補助支援員として従事している	14.7%	12.8%	+1.9	
	ケ	避難訓練を一緒に実施している	7.4%	-	-	
	コ	その他	10.3%	13.6%	△3.3	

令和元年度研修実施状況

研修名	実施日	参加者数	内容
わいわい先生研修	H31. 4. 10	112	○「子どもとの関わりについて各テーマごとに意見交換」 ・ものを使っても片づけない、ケンカの対処 ・子どもからの暴言、他の子と交わらない子への関わり ・落ち着きなく動き回る子どもへの対応、子どもが飽きっぽい 「休日わいわい広場実施について」 「わいわい広場での工夫」
	H31. 4 ～R2. 3	216	○他校わいわい広場への実地研修（希望者のみ）
	R1. 9. 17	23	○新規校開設時期に合わせて実施 ○新任わいわい先生のほか、新任の補助員や既存校のわいわい先生、PWも参加 ○「わいわい広場事業概要等説明」 「わいわい広場の意義及び遊びの効用について」 「遊び場におけるリスクマネジメント」
	R2. 1. 6	102	○こどもの遊び・育ちに関する講演 「遊びの意義とわいわい広場の誕生」 ○わいわい先生同士の意見交換 「今年度の振り返り」
補助員研修	H31. 4～ R2. 3	35	○他校わいわい広場への実地研修（希望者のみ）
	R1. 9. 17	2	○新規校開設時期に合わせて実施 ○新任わいわい先生のほか、新任の補助員や既存校のわいわい先生、PWも参加 ○「わいわい広場事業概要等説明」 「わいわい広場の意義及び遊びの効用について」 「遊び場におけるリスクマネジメント」
	R1. 10. 2 10. 3	206	○「わいわい広場の現状等について」 「遊び場におけるリスクマネジメント」
PW (プレイワーカー) 研修	H31. 4	38	○継続登録者研修 「わいわい広場の現状等について」 「PWの活動について」
	H31. 4～ R2. 3	18	○登録希望者に対する個別研修 「わいわい広場事業説明」 「わいわい広場の現状等について」 「わいわい広場でのPWの関わりについて」 ※登録希望があった時に随時実施
	R1. 9. 12	9	○プレイワーカー基礎講座 PW登録者を対象に、わいわい広場のPWとして必要な基本的スキルの習得を図る研修 「こどもにとっての自由に遊ぶことの意味の理解」 「大人が果たすべき役割の共有」
	R2. 2. 6	13	○プレイワーカーフォローアップ研修 PW、学生PW育成講座、プレイワーク研修講座の受講者等がそれぞれの活動を共有し、遊びの支援者としての意識を高め、その活性化を図る研修 「実践の振り返り」「こどもと一緒に遊ぶ際の視点等」
留守家庭子ども会 主任支援員研修	R1. 5. 12	275	○「留守家庭子ども会とわいわい広場の連携について」
	R1. 6. 30	277	○「留守家庭子ども会とわいわい広場の雨天時の連携等について」
<p>■プレイワーク研修講座 日時：R1. 6. 9、6. 15、6. 23、7. 14、7. 28 内容：子どもの育ちに欠かせない遊びへの大人の関わりについて、理解を深め支えていくために、基礎知識や技術を学べる講座 参加者（延べ人数）：132人</p>			

令和2年度研修実施状況

研修名	実施日	参加者数	内容
わいわい先生研修	R2. 8. 25	117	○「試行期間の取り組み内容の共有・意見交換」 「遊びについての意見交換」 「9月以降の広場の運営について」
	R2. 7～ R3. 3	58 (R2. 9末)	○他校わいわい広場への実地研修（希望者のみ）
	R3. 1 (予定)	-	○わいわい先生同士の意見交換
留守家庭子ども会への実地研修	R2. 5. 7～ R2. 5. 31	45	○留守家庭子ども会への実地研修（希望者のみ）
補助員研修	R2. 7～R3. 3	2 (R2. 9末)	○他校わいわい広場への実地研修（希望者のみ）
PW (プレイワーカー) 研修	R2. 8. 20 8. 24	42	○継続登録者研修 「わいわい広場の現状等について」 「PWの活動について」
	R2. 8～ R3. 3 (予定)	-	○登録希望者に対する個別研修 「わいわい広場事業説明」 「わいわい広場の現状等について」 「わいわい広場でのPWの関わりについて」 ※登録希望があった時に随時実施
	R3. 2 (予定)	-	○プレイワーカーフォローアップ研修 PW、学生PW育成講座、プレイワーク研修講座の受講者等がそれぞれの活動を共有し、遊びの支援者としての意識を高め、その活性化を図る研修
<p>■プレイワーク研修講座 日時：R2. 6. 21、6. 28(AM/PM)、7. 1(AM/PM) 内容：子どもの育ちに欠かせない遊びへの大人の関わりについて、理解を深め支えていくために、基礎知識や技術を学べる講座 参加者（延べ人数）：81人</p>			

わいわい広場の普及啓発

わいわい広場や、遊びの大切さ・遊びの効用について、学校・地域関係者・保護者等の理解を深めるために、「新1年生保護者説明会への参加」や「登録外児童を対象としたわいわい広場の開催」、「わいわいだよりの発行」、「学校やPTA、地域の広報誌への掲載」など、各実施校で工夫して様々な普及・啓発活動を行っている。

■休日わいわい広場の実施について

令和元年度より、各実施校において、年に1回、休日（土・日・祝日）に、「休日わいわい広場」を実施することとしている。

- ① 目的
平日は広場に来ることが難しい保護者や地域関係者等に、「わいわい広場」、「遊びの大切さや遊びの効用」について、理解を深めてもらう。
- ② 対象者
当該小学校区に居住する児童（登録外児童を含む）、乳幼児（保護者同伴）など
- ③ 内容
通常のわいわい広場の実施（プレイワーカー派遣や地域行事との連携もあり）

※令和2年度の実施については、新型コロナウイルスの影響により、現在検討中。

実施状況（令和元年度）

・実施校数 109校（136校中）

参加人数 (延べ)					
	児童	保護者	幼児	地域 関係者	学校 関係者
10,641	7,588	1,734	1,013	233	73

～主な実施事例～

○土日の昼間校庭開放事業の空間を活用した実施

- ・のんびりした空間の中で子どもたちがのびのびと好きなことをしている。
- ・児童に同行して一緒に遊ぶ保護者の姿や、乳幼児を連れた保護者の姿もあった。
- ・昼間校庭開放指導員がわいわい広場の趣旨を知る機会になった。

○土曜参観後の実施（保護者懇談会中から実施）

- ・参加児童が多く、通常のわいわい広場を多くの保護者に見てもらえた。
- ・お父さんの姿が多くあった。
- ・参観と一緒に来た乳幼児の姿も多くみられた。

○公民館や地域団体とのコラボレーション

- ・地域とのつながりができた。
- ・昔遊びや紙飛行機など、団体独自に持っているスキルが活用でき、子どもたちも遊びの幅が広がった。

わいわい広場の充実に向けて

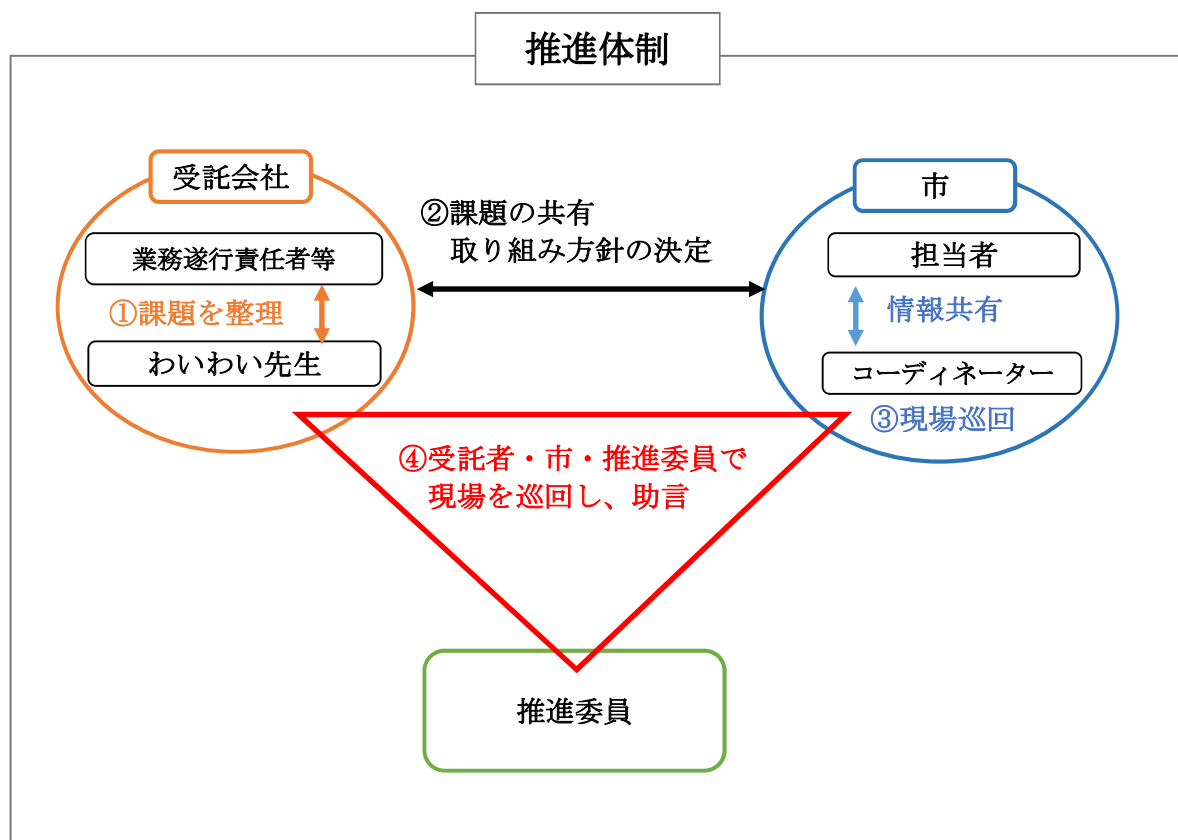
1. 現場支援の現状

- ・遊び場のあり方や各学校の課題等について、関係者間で方向性や認識を合わせる必要がある。
- ・各事業者にて策定している運営方針を、さらに実効性を上げる必要がある。
- ・遊び場の充実のために、遊び場のあり方（児童の遊びの支援、環境設定、スタッフの動き等）について専門家から助言をいただき、現場支援をさらに強化する必要がある。

2. 現場支援の体制

- ① 受託会社・わいわい先生で各校の課題等を整理
- ② ①の整理内容をもとに、受託会社・わいわい先生・コーディネーターの三者で情報共有、取り組み方針を決定
- ③ コーディネーターの現場巡回、関係者間で情報共有
- ④ 受託会社・市・推進委員が一緒に現場を巡回し、情報を共有・広場運営の助言を行う

※「●」は令和2度から実施



派遣型わいわい広場の実施について

わいわい広場は、全校区展開を目指して実施校を拡大している。
わいわい広場未実施校については、令和元年度より、「派遣型わいわい広場」として、年に1～2回単発でわいわい広場を実施し、子どもたちに遊びの効用が享受できるよう取り組んでいる。

派遣型わいわい広場の実施概要

目的	わいわい広場未実施校区で、派遣型わいわい広場での体験を通して遊びの引き出しを増やし、日ごろの遊びにつなげ、主体性やコミュニケーション力、体力、創造性の向上など、児童の健全育成を図る。
実施頻度	年に1～2回程度
場所	校庭、体育館等
スタッフ	遊びの支援者 数名派遣（学生プレイヤー等）、その他 地域の方 など
遊び	自由遊び

令和2年度実施校

・能古小学校（10/20、11/10実施） その他、小呂小学校等で実施予定

令和元年度取り組み状況

学校名	日時	場所	参加児童 (延べ人数)	実施状況
能古小学校	7月2日 9月18日	体育館 校庭	143名	<p>【実施形態】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者懇談会・参観の日に開催 土日の昼間校庭開放事業の時間帯で同時開催 等 <p>【遊びの様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> わいわい広場を楽しみに、当日は全校児童が参加した。 竹馬に初めて挑戦し上手に乗れるようになった子や砂場遊びに熱中する子などの姿が見られ、迎えに来た保護者もしばらく一緒に遊んでいた。 子どもたちが発案し4年生女兒を中心に問題を考え、学年を超えて一緒に謎解きゲームを楽しんでいた。 ドッジボールの輪が自然に広がり、男女学年問わず多くの児童が参加し非常に盛り上がった。 学生プレイヤー相手に、全力で鬼ごっこをするなど、普段とは違う遊び方を楽しんでいた。 <p>【保護者等の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島内の子と海っ子の児童の遊ぶ時間がバスの時間の関係上あまりないので、一緒に遊べる機会はとても良い。 普段は大学生などと一緒に遊ぶ機会が少ないので、子どもたちもとても刺激になった。 普段と違う遊びができて、子どもたちがとても楽しそうだった。ぜひまた実施してほしい。
舞鶴小学校	9月4日 12月5日	校庭	220名	
志賀島小学校	9月25日 12月7日	校庭	11名	
小呂小学校	9月28日 10月26日	公民館 保育園園庭	18名 (うち園児3名、 中学生1名)	
玄界小学校	10月5日 11月30日	校庭	22名 (うち乳幼児 3名)	
金山小学校	12月6日	体育館 (雨天)	75名	
勝馬小学校	1月16日	校庭	30名	